

研究機関：広島大学

研究課題名	C型肝炎ウイルス排除治療による肝硬変患者のアウトカムに関する多施設共同観察研究
研究代表者名	大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学 教授 竹原徹郎
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 講師 三木大樹
研究期間	2019年3月29日～2026年3月31日
対象者	2019年2月から2021年12月までに、広島大学病院消化器・代謝内科において、C型肝硬変に対して抗ウイルス治療が開始された方。
意義・目的	新たな抗C型肝炎ウイルス薬（direct-acting antivirals：DAA）の登場により、これまで治療が困難であった肝硬変の患者さんにおいても、ウイルスを排除する治療を受けることができるようになりました。しかし、ウイルスを排除することで、どの程度、肝臓の状態が改善するのかは明らかではありません。そこで、大阪大学を含む共同研究機関においてC型肝硬変に対してDAAが投与された患者さんを対象とし、抗ウイルス治療の有効性、安全性、ならびに、肝がんの発生を含む予後に関連する因子について明らかにすることを目的に、本研究を行うことにしました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテに記載されている年齢、性別、病歴、抗ウイルス治療前後の血液検査結果、画像検査結果、予後・転帰などのデータを収集して行う研究であり（個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ）、特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。
共同研究機関	全国38機関。大阪大学に情報を集め大阪大学（研究責任者 竹原徹郎）が解析します。
試料・情報の管理責任者	大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学 講師 疋田隼人
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5190 広島大学大学院医系科学研究科消化器・代謝内科学 講師 三木大樹